

## 活動報告

## 第5回多言語競演レシテーション大会

英米学科 石原 寛

本学における外国語教育活動の成果を披露する一つの場合である「多言語競演レシテーション大会」が、2008年から今回で5回目を迎え、学祭期間中の11月3日(土)に、S201教室にて開催されました。この催しは、学生が本学で学習中の外国語(留学生の場合は日本語)で文学作品などの一部を暗唱し、学習年数により二つのグループに分かれて、パフォーマンスを競い合うというものです。最後に優秀者が、聴衆による投票ならびに審査委員会による協議で選ばれます。今年度は第1部(学習1年目の履修者による)に7組、第2部(学習2年以上の履修者による)に5組、計12組が参加しました。当日は午前10時半から、吉池孝一高等言語教育研究所長の挨拶に引き続き、直前に行われたくじ引きの結果に従い、以下の順序で、いずれ劣らぬ熱演が制限時間3分の中で披露されました。

## 【第1部】

ラテン語: 鈴木淳美、鈴木美妃、林香月 [英米学科3年]

演題: “De Cornice Et Urna” Aesop's Fables: Avianus 『カラスと水差し』

イソップ寓話 『アヴィアヌス』より

“O fortuna” Carmina Burana 『おお、運命の女神よ』

『カルミナ・ブラーナ』より

ロシア語: 古賀もなみ [ドイツ語圏専攻1年]

演題: “РУСЛАН И ЛЮДМИЛА” ПОСВЯЩЕНИЕ

物語詩 『ルスランとリュドミラ』のプロローグより

А. Пушкин (プーシキン)

中国語: 具本哲、白須大地、成瀬美咲、山本泰江 [中国学科1年]

演題: 『青春万歳』 王蒙

フランス語: 齊本周士、曾根原亮、林拓弥 [フランス語圏専攻1年]

演題: “Le Petit Prince” 『星の王子さま』

Antoine de Saint-Exupéry (アントワヌ・ドゥ・サンテグジュペリ)

スペイン語: 吉崎美穂 [スペイン語圏専攻1年]

演題: “La vuelta al mundo” 『世界一周』

Calle 13 (カジェ13)

ドイツ語: 中村美彩綺、森晶世 [ドイツ語圏専攻 1 年]

演題: “Hans Hucklebein - der Unglücksrabe” 『いたずらカラスのハンス』

Wilhelm Busch (ヴィルヘルム・ブッシュ)

ポルトガル語: 王恵子 [国際関係学科 1 年]

演題: “Piadas” (ブラジリアンジョーク)

## 【第 2 部】

ロシア語: 猪狩春樹 [国際関係学科 2 年]

演題: Пожар 『パジャール(火事)』

Самуил Маршак (サムイル・マルシャーク)

英語: 金井真実子、佐藤晴香、佐藤遥、星野佐和 [国際関係学科 1 年]

演題: “The beginning of adventure” 映画『スタンドバイミー』より

ポルトガル語: 平田彩花 [英米学科 2 年]

内田葵 [スペイン語圏専攻 2 年]

水越ジェマディー [スペイン語圏専攻 3 年]

演題: “Brigadeiro” (ブラジルのチョコレート菓子)

スペイン語: 加藤智代 [スペイン語圏専攻 2 年]

演題: “A Sancho Panza” 『サンチョ・パンサに捧げる歌』

Gabriel Celaya (ガブリエル・セラヤ)

英語: 渡邊和歩 [英米学科 1 年]

演題: “Please Listen to Me” (みなさん、知っていますか?)

以上のパフォーマンスに引き続き投票が行われ、第 1 部で 70 名、第 2 部では 66 名の投票を得て、以下の通り、最優秀賞ならびに優秀賞が決定しました。

### 第 1 部

■最優秀賞 ポルトガル語: 王恵子 [国際関係学科 1 年]

■優秀賞 中国語: 具本哲、白須大地、成瀬美咲、山本泰江 [中国学科 1 年]

### 第 2 部

■最優秀賞 ポルトガル語: 平田彩花 [英米学科 2 年]

内田葵 [スペイン語圏専攻 2 年]

水越ジェマディー [スペイン語圏専攻 3 年]

■優秀賞 英語: 金井真実子、佐藤晴香、佐藤遥、星野佐和 [国際関係学科 1 年]

さらに、審査委員会による協議の結果、以下の通り、特別賞が決定しました。

- 学長賞                      フランス語: 齊本周士、曾根原亮、林拓弥 [フランス語圏専攻 1 年]
- 外国語学部長賞      スペイン語: 吉崎美穂 [スペイン語圏専攻 1 年]

以上の結果発表、表彰、最後に鎌倉やよい副学長の講評をもって、午後 1 時半前に本大会はつつがなく終了しました。以下、受賞したかたがたの声をご紹介します。



第 1 部 最優秀賞(ポルトガル語)  
王 恵子

今回、I 部で最優秀賞をいただくことができ、とても嬉しく思っています。その喜びの一つ目は、習い始めて半年の私にとって、理解が難しかった今回の発表文を、最後まで諦めずに、やり遂げたことです。二つ目は、私の発表の間だけですが、普段みなさんに馴染みのないポルトガル語を、少しでも理解をしていただくことができ、楽しんでいただけたことです。三つ目は、私を応援してくれた友達、そして何より、忙しい中ご指導をくださった先生の期待を裏切ることなく、成果を出し切ったことです。これらをばねに、言語を楽しく学習していきたいと思っています。



第 2 部 最優秀賞(ポルトガル語)  
平田 彩花  
内田 葵  
水越 ジェマディー

最優秀賞を取ることができ、一生懸命練習してよかったと思いました。3 人で参加したので、他の 2 人の足を引っ張らないように、というプレッシャーがありました。が無事成功し、最高のものができたと思います。(平田彩花)

去年はポルトガル語の第一部で賞をいただき、今年もポルトガル語で賞をいただけたことを大変うれしく思います。練習はお互いの予定を合わせたりで大変でしたが、努力が報われて良かったです。(内田葵)

授業の関係でスケジュールがなかなか合わず、全員揃って練習することが困難でした。先生の指導、皆の集中力と強い意志でわずかな時間を効率良く使うことで練習がスムーズに進められました。皆の意志が一致していたことは優勝を収められた要素の一つであろうと感じました。(水越ジェマディー)



### 第1部 優秀賞(中国語)

具 本哲  
白須 大地  
成瀬 美咲  
山本 泰江

今回、私たち中国学科一年生は、レシテーションコンテストの第一部で、王蒙の「青春万歳」を暗唱しました。そして、優秀賞を受賞することができました。コンテストに参加した理由の一つは、やはり、自分の中国語の発音を高めたいという思いがあったからです。しかし、練習の内容はとても厳しく、指導してくださった張先生からは合格サインがなかなか出ませんでした。本番を無事に終わられるのかとても不安でしたが、練習を乗り切ったおかげで十分に練習の成果を発揮できたと思います。まだまだ発音は十分ではありません。これからの学習が重要なので、がんばっていきます。コンテストを終えて、以前よりもっと中国語が好きになりました。来年は学外のコンテストにもぜひ参加してみたいです。そして、より高い中国語の能力を得られように、努力していきたいです。最後に、指導していただいた張先生、中西先生にはとても感謝しています。ありがとうございました。(具本哲)



### 第2部 優秀賞(英語)

金井 真実子  
佐藤 晴香  
佐藤 遥  
星野 佐和

私たちは、映画 Stand by me の一部を抜粋して演じ、優秀賞をいただきました。この賞を受賞できたのは、私たち4人の力だけではなく、周りのみなさんの応援や支えがあったからです。大会までには、題材探しやスケジュールの調整、資料作りなど多くの困難がありました。練習の際には、学科の先生方にもアドバイスをいただき、限られた時間の中で努力を重ねました。当日は、4人で楽しもうという気持ちで臨み、ハプニングもありましたが、最後までやり遂げることができました。先生方や友人の応援にこたえられたのか不安だったので、受賞が決まった時には、驚きつつも安心しました。このような良い経験を積める機会をいただきありがとうございました。



学長賞(フランス語)

齊本 周士  
曾根原 亮  
林 拓弥

私たちがレシテーション大会を通して学んだ点は、フランス語特有のイントネーションや発音の難しさです。初めはなかなかうまく発音できませんでしたが、フランス人の先生によるマンツーマンのご指導を受けることによって少しずつ上達することができ、そして、私たちは『星の王子さま』を演じることができました。これからも今回のレシテーション大会で学んだことを活かしてフランス語を一生懸命学んでいきたいと思います。



外国語学部長賞(スペイン語)

吉崎 美穂

まず、この大会に参加するにあたって指導してくださった先生や、協力あるいは応援してくださったみなさまに感謝します。本当にありがとうございました。練習をしていくなかで、それまでは知らなかった発音の違いなどを学ぶことができ、以前よりスペイン語が好きになりました。また、他言語の発表者の方々の素晴らしいパフォーマンスを見聞きして、言語に対する関心がより一層深まりました。本当によい経験でした。またこのような機会があれば、ぜひ参加したいです。



第5回多言語競演レシテーション大会出場みなさん

レシテーション大会の担当者として、今回の大会について特筆すべきは、二つの新しい試みが導入されたことです。一つは、従来どおりのレシテーションに加え、「ショートドラマ」を演ずることが可能となりました。第1部のフランス語、第2部の国際関係学科の学生による英語などにおいて、ショートドラマは披露されています。もう一つは、今回初めて学生による司会が実現しました。すなわち、中国語の自主学習グループからの4年生2名、そしてアラビア語の自主学習グループからの1年生2名が、4年生と1年生でペアとなり、一方のペアが第1部、他方が第2部を担当し、見事に大会を進行させました。なお、アラビア語学習グループからのさらに2名の1年生を加えた合計6名の学生からは、司会役のみならず、準備段階から大会当日の裏方に至るまで、さまざまな形で大きな助力を得ました。最後に、本大会開催に向けご協力、ご支援をいただいたすべてのかたがたに、この場を借りて心より御礼申し上げます。

#### 多言語競演レシテーション大会実施要領の概要

- ・暗唱する者は、今年度、本学の外国語の授業——全学共通・外国語科目及び外国語学部専門科目——を受講し、その言語を学習している学生とする。
- ・第1部と第2部に分けて出場者を募る。第1部には当該言語を学習1年目で当該言語圏に3ヶ月以上滞在したことがない学生が、第2部には学習2年目以上の学生が参加する。英語と日本語は第2部のみの募集とする。第2部については今年度はレシテーション、ショートドラマなどから選べる。
- ・第1部と第2部、それぞれ一言語1件を担当教員が選抜する。ただし英語は3～4件とする。規定時間内で2名以上が一つの作品を演じる場合、1件として参加できる。
- ・1件につき暗唱時間は3分(移動・準備・片付けを含め5分)とする。その間、関連する写真等を投影する。
- ・聴衆には暗唱内容の和訳と背景等を書いた印刷物を配布する。
- ・暗唱度、表現力、映像・印刷物の準備度、仲間力等を総合的に評価し、審査する。

(以上、本年度の出場希望者募集用ポスターに基づく)